

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農地復活応援団
事業主体 (連絡先)	生坂村役場振興課 (0263-69-3112)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	円 (うち支援金:円)

事業内容

○乗用草刈機1台を購入し、遊休農地への奨励作物栽培を下記のとおり行った。

・農業委員会、教育委員会で小学生児童クラブを対象に、食育活動として、野菜栽培、小麦栽培の農業体験を行った。

児童11名 栽培面積10a

・農業委員会で、遊休農地を活用し大豆の栽培を行った。収穫した大豆を使い、3月下旬に味噌を作り小学校の給食に提供する予定。

栽培面積20a 農業委員9名

大豆播種 6月下旬・草取り随時・収穫 11月中旬・味噌づくり 3月下旬

おじさま倶楽部」ソバの栽培 面積60a 収穫量138kg

・収穫したそばでイベントを開催

新そばまつり 11月8日(日) 154名来場



【B】

【目標・ねらい】

- ①農業生産活動の支援
- ②遊休農地発生防止

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

本年度支援金を活用して、乗用草刈機を購入し、地区の農地保全活動や栽培活動を行った。活動組織の高齢化に対応でき、遊休農地発生防止と活動組織の支援が図れた。

○地区営農団体 3団体へ貸し出し

○遊休荒廃地解消面積

小学生児童クラブ農業体験 10a

農業委員会大豆栽培 20a

おじさま倶楽部そば栽培 60a 計90a

※自己評価【B】

【理由】
遊休荒廃地であった農地を40a程解消でき、今後も各地域で農業委員を中信に活動を行い荒廃農地の解消を図る。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 営農組合の活動を活性化するための支援策
- 高齢化の進んだ地域への新規就農者の就農定住
- 農業用施設の更新及び将来を見据えた基盤整備
- 不在者地主への対応
- 住民への農業技術の研修

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある